

令和6年4月8日



# 小 学校だより 4月号

横浜市立瀬谷さくら小学校  
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すぎ 友だち大すぎ このまち大すぎ さくらの子」

- (知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。
- (徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。
- (体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。
- (公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。
- (開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。



## 「あるべき学校の姿を目指して」

校長 場家 誠

校名の由来にもなった、学校や周辺のさくらが見頃を迎える中、令和6年度がスタートいたしました。お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。昨年度に引き続き、今年度も本校校長を務めさせていただきます、第6代校長の 場家 誠 と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は、様々な場面で保護者の皆様、地域の皆様にご理解、ご協力をいただきながら、アフターコロナの中の学校経営を進めることができました。改めて、皆様に感謝申し上げます。

さて、そんな学校経営において、私が特に大事にしてきたのは、職員とともに、次に示すような「本来あるべき学校の姿」を追求し続けるということでした。

### 心と体の安全が守られる学校

「だれもが 安心して 豊かに」すごせる学校

豊かに=「期待して登校し、熱中して学び、満足して帰る」学校

具体的には、子どもたちにくり返し「安全に気を付けて生活する」ことの大切さを伝えるとともに、学援隊をはじめとした多くの方々と力を合わせ、子どもたちの見守りを続けてきました。

また、子どもたちが少しでも安心してすごせるように、職員は子どもたちのことをよく見て、よく話を聞くようにしてきましたし、もちろん「いじめの、未然防止、早期発見、早期対応」にも努めてきました。

そして「豊かに」を実現するために、授業改善や特別活動、学校行事等の充実を図ってきました。

今年度も、この「本来あるべき学校の姿」を求めつつ、その上で、学校教育目標「自分大すぎ 友だち大すぎ このまち大すぎ さくらの子」の実現を目指して、職員とともに全力で取り組んでまいります。

学校を子どもたちにとって、「安全に」かつ「安心して」過ごせる場所にするためにも、引き続き皆様のご理解ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。